

みずほCustomer Desk Report 2024/12/09号(As of 2024/12/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	150.07 AUD/USD
TKY 9:00AM	150.15	1.0586	158.95	1.2756	0.6451
SYD-NY High	150.68	1.0630	159.48	1.2810	0.6455
SYD-NY Low	149.38	1.0543	158.16	1.2721	0.6373
NY 5:00 PM	150.04	1.0565	158.43	1.2741	0.6390
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,642.52	▲ 123.19	日本2年債	0.5900%	0.0000%
NASDAQ	19,859.77	159.52	日本10年債	1.0500%	▲0.0200%
S&P	6,090.27	15.16	米国2年債	4.0956%	▲0.0473%
日経平均	39,091.17	▲ 304.43	米国5年債	4.0313%	▲0.0429%
TOPIX	2,727.22	▲ 15.02	米国10年債	4.1481%	▲0.0290%
シカゴ日経先物	39,350.00	0.00	独10年債	2.1125%	0.0085%
ロンドンFT	8,308.61	▲ 40.77	英10年債	4.2755%	▲0.0055%
DAX	20,384.61	25.81	豪10年債	4.2470%	0.0070%
ハンセン指数	19,865.85	305.41	USDJPY 1M Vol	10.92%	▲0.40%
上海総合	3,404.08	35.22	USDJPY 3M Vol	10.96%	▲0.16%
NY金	2,659.60	11.20	USDJPY 6M Vol	10.57%	▲0.04%
WTI	67.20	▲ 1.10	USDJPY 1M 25RR	▲1.38%	Yen Call Over
CRB指数	286.34	▲ 0.09	EURJPY 3M Vol	10.86%	▲0.09%
ドルインデックス	106.06	0.34	EURJPY 6M Vol	10.60%	0.00%

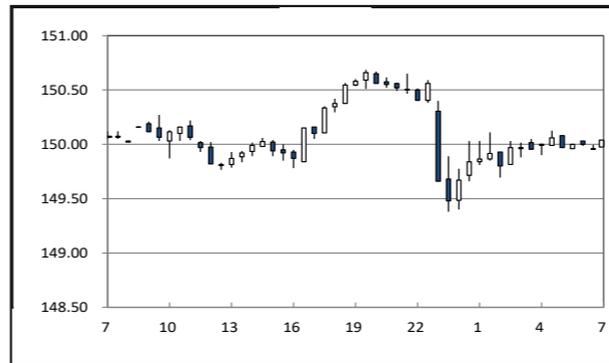
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月6日	14:00	日 景気一致指数・速報	10月 116.5	117.7
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 -1.0%	1.0%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q F 0.4%/0.9%	0.4%/0.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 227k	220k
	22:30	米 失業率	11月 4.2%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.4%/4.0%	0.3%/3.9%
	23:15	米 ボウマンFRB理事 講演	利下げは慎重かつ漸進的に進めたい	
12月7日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 74.0	73.2
	03:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	労働市場は引き続き好調	

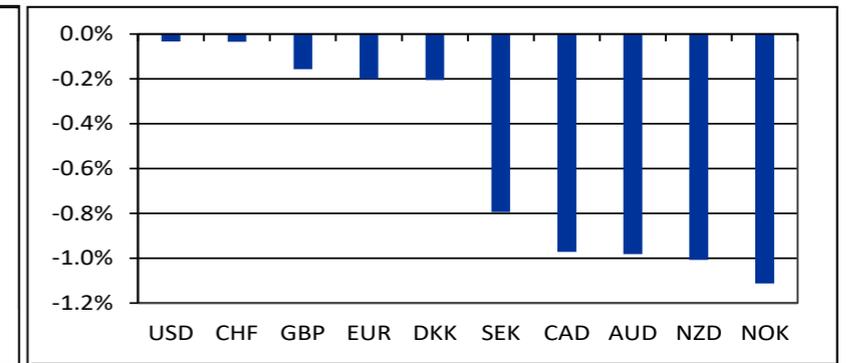
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月9日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q 0.3%	0.2%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q 1.0%	0.9%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	3Q 2.5%	2.5%
	10:30	中 PPI/CPI(前年比)	11月 -2.8%/0.4%	-2.9%/0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.30-150.80	1.0480-1.0630	157.80-159.50

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は米11月雇用統計の結果を受けて、下落した。東京時間は米11月雇用統計を控え150円を挟んでレンジ内での取引が続いた。海外時間には高値150.68まで緩やかに上昇。NY時間に入り米11月雇用統計が発表されると、利下げ織り込みの進行とともに一時149.38まで急落も、その後は150円台まで回復してクローズ。本日のドル円は狭いレンジでのみみ合いが続く展開を予想する。金曜日に発表された米11月雇用統計では非農業部門就業者数が予想を上回ったものの、失業率が予想より悪化したこともあり、利下げ織り込みを8割強まで強めることとなった。一方で、平均時給は予想を上回っており、12月会合での利下げに向けてインフレの鎮静化が依然として課題として残ったか。利下げは相応に織り込まれており、これ以上織り込みが進む余地が小さいことを考慮すると、水曜日に控える米11月CPIの結果発表までは方向感の出ない動きを予想する。

東京	東京時間のドル円は150.15レベルでオープン。米国時間に発表される米11月雇用統計の結果発表を前に様子見ムードが広がり、動意に欠ける展開が続いた。ただ、仏政局不安が後退したことで対ユーロでドル売りが進み、ドル円もそれにつられ149.77まで下落。結局、149.92レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場は午後の米非農業部門雇用者数(11月)の発表を控え全般的に様子見となった。ドル円は149.92レベルで寄り付き、150.68まで小幅上昇し150.41レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.05台後半で横這い推移した。EUの第3四半期GDP確報は、前年同期比0.9%、前四半期比0.4%と予想とほぼ一致した。市場の反応は殆ど無かった。ポンドドルは主な指標の発表も無く1.27台半ばを中心とした比較的静かな展開となった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台前半でスタート。米雇用統計の結果発表を控えたポジション調整の動きや、米金利の上昇を背景に150.68まで上昇。その後は小幅反落し、150.41レベルでNYオープン。朝方に発表された米11月雇用統計では、非農業部門雇用者数変化指数は予想を上回ったものの、失業率が予想以上に悪化した事が懸念され、発表後は米金利の低下に伴い、149.38まで売られる。しかし、続いて発表された米12月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を上回った事や、構成項目の1年先の期待インフレ率も予想以上に伸びを見せた事を受け、149.80付近まで買い戻される。午後はドルの買い戻しが続く、150円台を回復し、150.04レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。米雇用統計の結果発表を控え様子見ムードが広がり、1.0580付近を挟んだ狭いレンジ推移が続き、1.0582レベルでNYオープン。朝方は先述の予想より悪化した米11月失業率の結果を受け、瞬時に1.0630まで上昇する。しかし、その後は独金利の低下とドル売りが一巡した事を受け、1.0560近辺まで反落。午後ドル買い地合いが一段の重しとなり、1.0543まで値を下げる。その後は小幅反発し、1.0565レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。